

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】令和6年7月29日(2024.7.29)

【公開番号】特開2024-76370(P2024-76370A)
 【公開日】令和6年6月5日(2024.6.5)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-103
 【出願番号】特願2023-197905(P2023-197905)
 【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/686(2018.01)

10

【F I】

C 1 2 Q 1/686 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月19日(2024.7.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

PCRにおいて下記表1に示される遺伝子からなる群より選択される少なくとも1種の遺伝子を内部標準遺伝子として用いることを含む、乳幼児の皮膚表上脂質検体に含まれる目的遺伝子の発現量を測定する方法。

【表1】

Gene Symbol	Gene Symbol
PCBP2	ARF1
RPL30	RPS10
ARPC2	RPL11
UBA52	RPS19
RAB7A	FTL
RAC1	RPL12
ARL8B	CLIC1
RPL32	CFL1
PCBP1	ARPC4
BZW1	RAB11FIP1
H3F3A	NDUFA1
RPS8	PSMB4
FAU	PSAP
RPL4	GNB2L1
EEF1G	CD63

30

【請求項2】

目的遺伝子の増幅産物の量を内部標準遺伝子の増幅産物の量で補正し、目的遺伝子の発現量を算出することを含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記内部標準遺伝子がARF1、RPL30及びFAUより選択される少なくとも1種の遺伝子である、請求項1又は2記載の方法。

50

【請求項 4】

前記内部標準遺伝子と特異的にハイブリダイズするオリゴヌクレオチドを含有する、請求項 1 又は 2 記載の方法に用いられる乳幼児の皮膚表上脂質検体に含まれる目的遺伝子の発現量の測定用キット。

【請求項 5】

前記表 1 に示される遺伝子からなる群より選択される少なくとも 1 種の遺伝子の、PCR を用いた乳幼児の皮膚表上脂質検体に含まれる目的遺伝子の発現量の測定における内部標準遺伝子としての使用。

【請求項 6】

前記目的遺伝子の発現量の測定が、目的遺伝子の増幅産物の量を内部標準遺伝子の増幅産物の量で補正し、目的遺伝子の発現量を算出することを含む、請求項 5 記載の使用。

10

【請求項 7】

前記内部標準遺伝子が ARF 1、RPL 30 及び FAU より選択される少なくとも 1 種の遺伝子である、請求項 5 又は 6 記載の使用。

20

30

40

50